

Master of Science in Public Health MSPH

- ☐ A two-year program designed to equip health professionals with skills in the application of concepts, theories and principles to the solution of various public health problems, getting specialized training in any of the following tracks: Epidemiology (Public Health vs Clinical), Biostatistics, Medical Microbiology, Parasitology, Environmental Health and Nutrition, Health Promotion and Education, Health Policy & Administration (MA)

Master of Hospital Administration MHA

- ☐ Program created to provide students with the basic knowledge, concepts, and principles in the field of health care administration with emphasis on hospital and health care organizations
- ☐ Graduates of this program develop proper attitudes that allow them to manage hospitals efficiently and effectively; allows students to analyze the role of the hospital in the health care system of the country

Master of Occupational Health MOH

- ▮ This program prepares students for careers or responsibilities that deal with health and safety problems in the workplace.
- ▮ Course emphasis is on principles and methods of occupational health and safety and their application in the provision of health care to all workers in various workplaces

CPH MODES OF LEARNING

- ☆ **Residential- day time**
- 🕒 **Flexitime**
 - 🕒 **After Five**
 - 🕒 **Saturday classes**
- 🕒 **Distance Education**
- 🕒 **Residential Off-Campus
(Modular)**

CPH STUDENT PROFILE

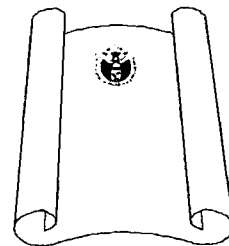
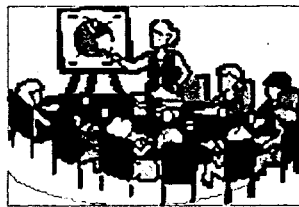
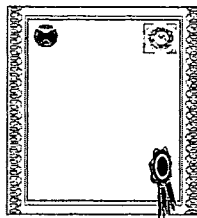
“A Home to BSPH students as well as to local graduate students . . . “

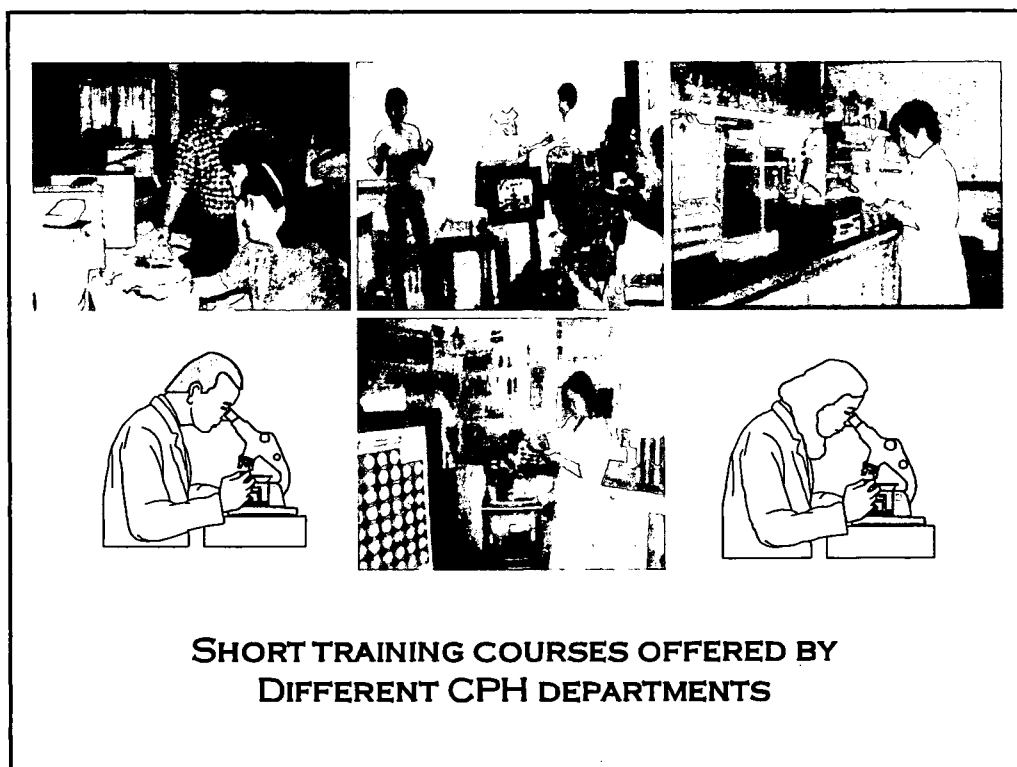


“ A Host to foreign students from . .

- Thailand
- Indonesia
- India
- Korea
- Belgium
- Papua New Guinea, Jamaica, Lao , Myanmar, etc.
- Cambodia
- Malaysia
- Pakistan
- China
- Tanzania
- Japan
- Vietnam
- Nepal
- Mongolia
- USA

In addition to degree programs , we also offer Special Short Term training courses, Diploma and certificate courses





Department of Health Policy and Administration

- ☐ Executive Course in Hospital Administration
- ☐ Human Resource for Health Management
- ☐ Management of Health Policy Implementation
- ☐ Medical Records Management
- ☐ Health System Strengthening
- ☐ Hospital Economics and Health Financing
- ☐ Basic Training Course in Occupational Dental Health

Department of Nutrition

- ☐ Short course on Food Safety
- ☐ Nutritional Status Assessment
- ☐ Nutrition Program and Planning
- ☐ Nutrition Epidemiology and Mothercraft Nutrition



Department of Environmental and Occupational Health

- Postgraduate course on Occupational Health and Safety
- Certification Course for Water refilling station managers and Plant Operators



Department of Medical Microbiology

- █ Postgraduate course on Diagnostic Mycology
- █ Applied bacteriology
- █ Diagnostic Immunology and Serology
- █ Anaerobic Bacteriology

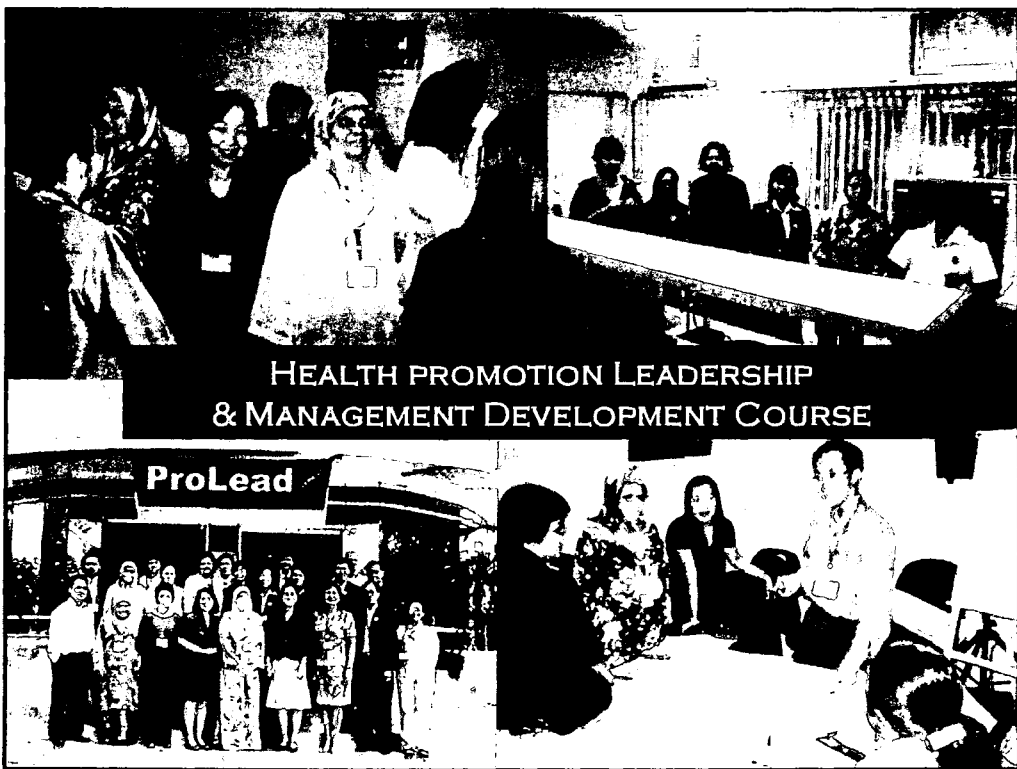
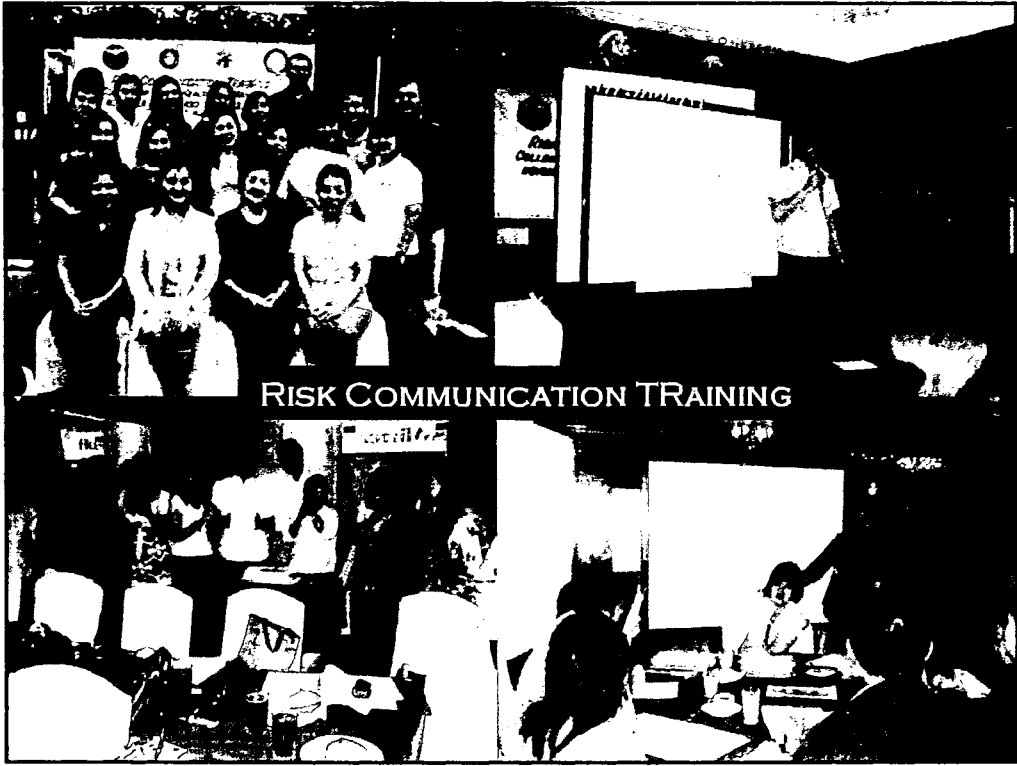
Department of Parasitology

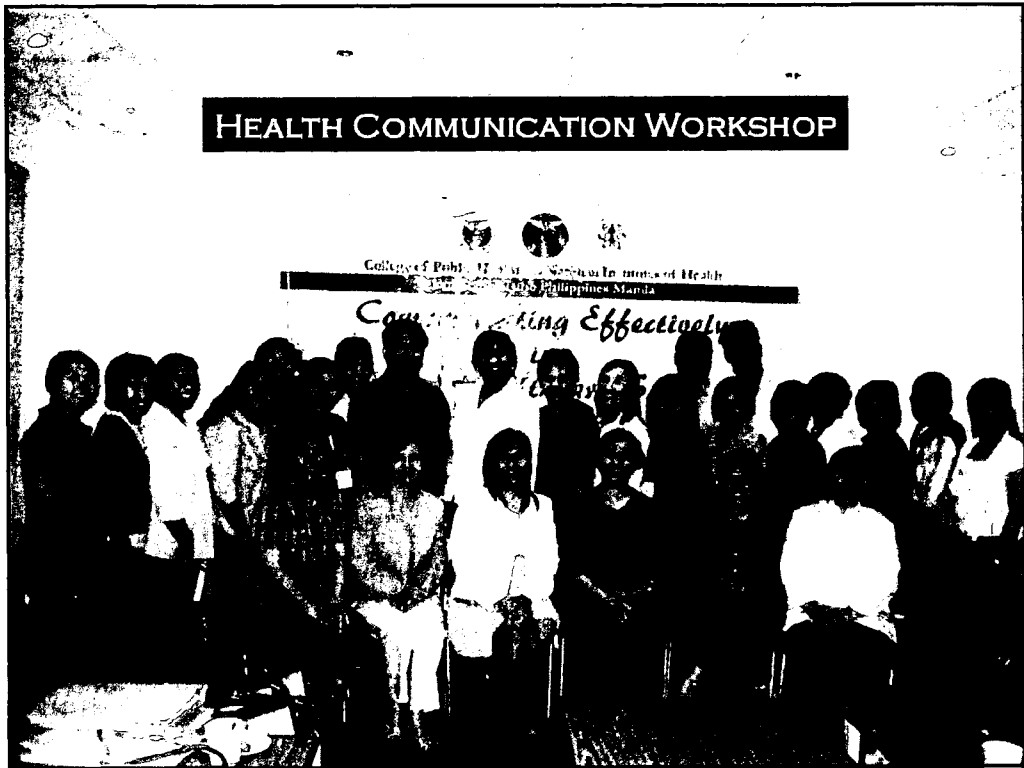
- █ Intensive course in Diagnostic Parasitology
- █ Control of Major Tropical Diseases
- █ Training for Medical Technologists in the Laboratory Diagnosis of Food and Waterborne parasitic Diseases



Department of Health Promotion and Education

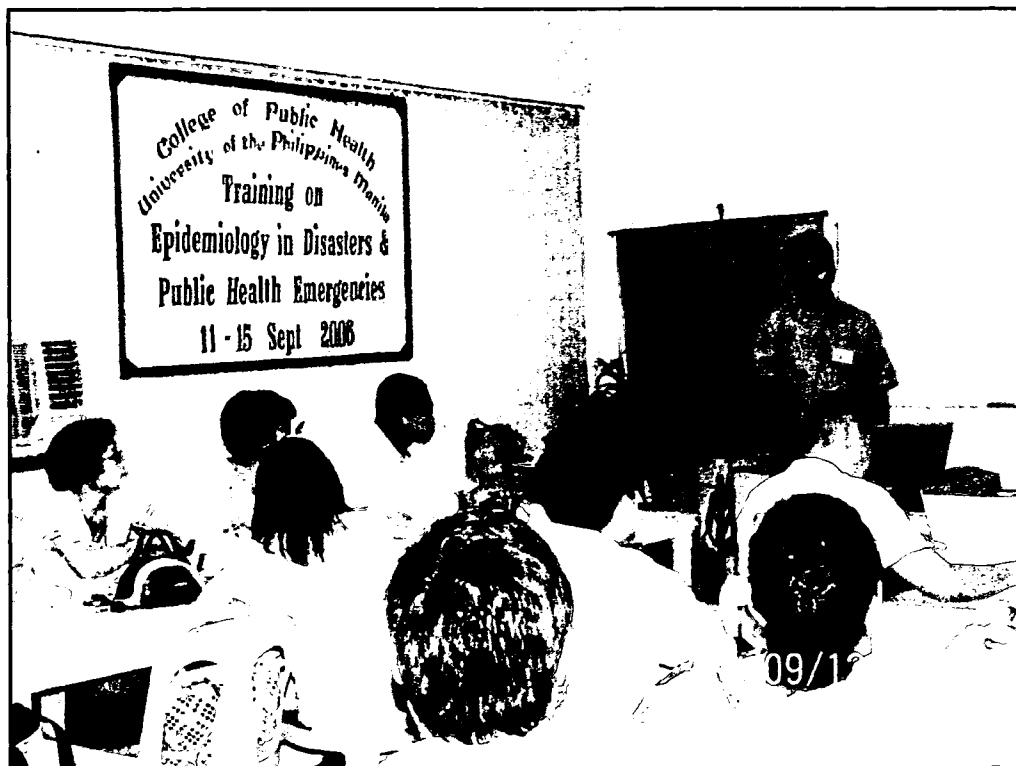
- ▣ Training course / Workshop on Health Communication
- ▣ Training on Risk Communication
- ▣ Health Promotion Leadership and Management Development Course





Department of Epidemiology and Biostatistics

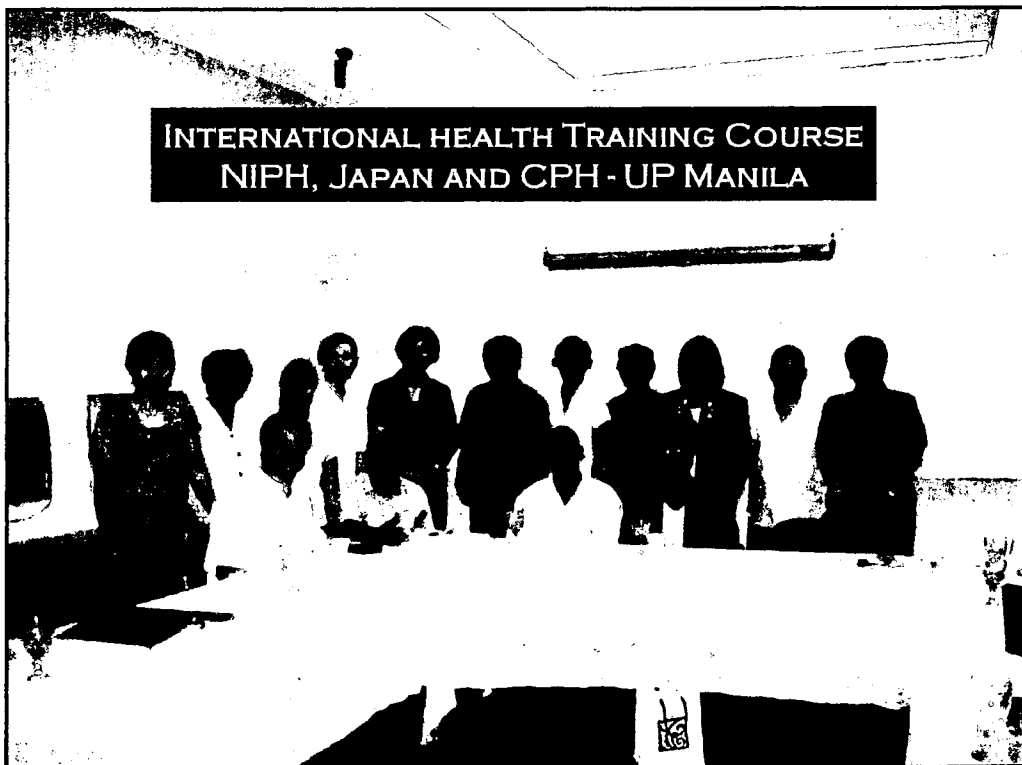
- Training course on epidemiology in Disasters and PH emergencies
- Course on prevention and control of major non-communicable diseases
- Epidemiology and Research in Public Health Surveillance
- Basic Research Methods
- Analysis of Survival data
- HIV/AIDS monitoring and evaluation
- Effective Team in Good Clinical Practice



Interdepartmental Course offerings



- ▣ International Health Training course with NIPH, Japan
- ▣ Health Emergencies and Disasters





CPH LINKAGES & PARTNERSHIPS

- ◆ **National Institutes of Public Health ,Japan**
- NIPH, Cambodia**
- NIPH, Indonesia**
- **Boston University, USA**
- **University of Maryland, USA**
- **University of Minnesota, USA**
- **University of California, USA**
- **University of Newfoundland, Canada**
- **Free University of Berlin, Germany**

Trainees and Institutional Linkages/Partnerships

- ☐ **Medical doctors, PH practitioners and administrators, nurses, dentists, engineers, pharmacists, socio-behavioral scientists, medical technologists, teachers, other health workers**
- ☐ **Academe, local and regional government units, NGOs and other private companies, foreign international bodies**

THANK YOU FROM


CPHUPM

資料 4

医師臨床研修（地域保健・医療）の取り組みに関する実態調査の概要

国立保健医療科学院 公衆衛生政策部
比較政策室長 川南勝彦

目的

医師臨床研修（地域保健・医療）の受け入れ機関である保健所の受け入れ体制、保健所職員のOJTとしての研修医への教育活動等の効果等の実態を把握する。

調査方法

保健所における医師臨床研修（地域保健・医療）の取り組みに関する資料の収集・整理を、文献やインターネットより行った。

結果

文献やインターネットにより、保健所における医師臨床研修（地域保健・医療）の取り組みに関する資料の収集・整理を行った結果、中心的な役割を果たす全国保健所長会を中心とした研究報告書の中で、受け入れ保健所に対する実態調査（「地域保健・医療」研修として研修医を受け入れた390 保健所、回収率75%）を行っており、その結果として、

（1）受け入れ人数は10 人以下が7割、保健所での研修人数が多い都道府県や市では、本庁の担当課等で人数調整が行われ、保健所間で極端な人数のバラツキがないよう配慮されているところも多かった。（2）研修に関する組織は半数が設置、その役割は、「全体企画」が最も多く「個別調整」「研修の運営」「研修の評価」と続いていた。

（3）主たる担当者は所長・医師が6割であり、その他の4割の保健所では、保健師・事務職等医師以外の職員が主たる担当者として、実質的な運営や調整にあっていた。

（4）研修期間は4 週間（1 ヶ月）が半数

（5）研修医の保健所における身分が「ある」と答えた保健所は非常に少なく、大多数の保健所では、研修病院における身分で研修医を受け入れていた。

（6）4割の保健所が研修医の希望をもとにプログラムを作成していた。また、半数の保健所では、研修医の希望と保健所として研修させたいことをミックスしてプログラムを作成していた。両者を併せると、9割以上の保健所が研修医の希望に配慮したプログラムを作成していることがわかった。

（7）座学より参加型研修を重視

各保健所とも、研修に当たっては座学を極力少なくし、家庭訪問等実際の現場活動を重

視した参加型の研修を組むよう配慮していた。主体的に実施させた内容は、「家庭訪問」が最も多く5割の保健所で取り入れていた。「健康教育」「結核のフィルム読影」「結核審査会でのプレゼンテーション」は4割以上、「H I V検査」「テーマについての研究と発表」「立ち入り検査」「資料等の集計・分析」は3割以上の保健所が取り入れていた。

研修医へのアンケートでプログラムの満足度について、健康相談や結核診査協議会等結核関連事業、H I V検査など性感染症関連事業は実施率も高く、研修医としても「とても有益」または「有益」と答えている割合が高かった。健康教育は8割の研修医が経験していたが満足度は高く、テーマについての研究発表も8割が経験していたが「とても有益」「有益」が8割であった。

(8) 立ち入り検査も「同行」で経験

医療法25条に基づく立ち入り検査についてどのような方法で行っているか聞いたところ、「相手の了解を得て同行している」と回答した保健所が最も多く5割強であった。3割の保健所では、期間中に機会がなかったり、プログラムにないなどにより経験していなかった。なお、立ち入り検査用に職員証を発行している保健所は5保健所であった。

(9) 評価について

研修医の評価は、保健所長がしている場合が多く、研修病院の評価表はE P O C評価システムを採用している病院が約半数であった。

保健所では、E P O C評価システムなど研修病院の評価方法によって評価するだけでなく、「研修医の自己評価と指導医評価を実施」「毎日研修レポートを提出」「終了時に感想文を提出」「テーマについての発表も評価の対象」「一般目標と行動目標を基に独自に評価表を作成」「担当職員も担当項目毎に評価を行った」「最終日にグループ討議を行い、個々の発言も評価の対象」「口頭試問を実施」等々、保健所毎に工夫しながら評価を行っていた。また、独自の評価表を作成している保健所も見られた。研修病院の評価表に加えて、保健所で行っている評価表を研修病院に提出している保健所が約半数あった。

(10) 具体的な保健所での取り組み

A保健所

- ①独自の保健所研修テキストを基本に、研修医の「学びたいこと」を参考に組み立て
- ②模擬事例を使用。自分でも調査票に記入し比較するなど参加型研修を主体として実施
- ③立ち入り検査は、病院の協力を得てシミュレーション実施

B保健所

- ①グループディスカッションを重視し、講義や実践で身に付かない「どう考えるか」を討議
- ②問題志向型プログラムとし、最後にテーマをもって発表・評価会を企画
- ③死亡診断書の書き方も5例の症例を呈示し実践的に実施

C保健所

- ①事前の研修医の希望を把握した個別的プログラム作成

- ②市町村保健センターとの共同プログラム
- ③地域医療研修との同時実施で事業設定を弾力化
- ④感染症や精神保健等のテーマを集約したプログラム

D保健所

- ①診療所での地域医療研修との合同実施プログラム
- ②住民へのインタビューと保健情報データマイニングとによる地区診断を実施
- ③制度/法改正前後の時期にある分野についての自己学習を課す

考察及びまとめ

文献やインターネットにより、保健所における医師臨床研修（地域保健・医療）の取り組みに関する資料の収集・整理を行った結果、中心的な役割を果たす全国保健所長会を中心とした研究報告書の中で、受け入れ保健所に対する実態調査（「地域保健・医療」研修として研修医を受け入れた390保健所、回収率75%）を行っており、

（1）研修に関する組織は半数が設置、その役割は、「全体企画」が最も多く「個別調整」「研修の運営」「研修の評価」であり、主たる担当者は所長・医師が6割であり、その他の4割の保健所では、保健師・事務職等医師以外の職員が主たる担当者として、実質的な運営や調整にあたっていた。

（2）研修期間は4週間が半数を占め、2週間、1週間と続くが、各保健所とも、研修に当たっては座学を極力少なくし、家庭訪問等実際の現場活動を重視した参加型の研修を組むよう配慮していた。主体的に実施させた内容は、「家庭訪問」が最も多く5割の保健所で取り入れていた。「健康教育」「結核のフィルム読影」「結核審査会でのプレゼンテーション」は4割以上、「HIV検査」「テーマについての研究と発表」「立ち入り検査」「資料等の集計・分析」は3割以上の保健所が取り入れていた。保健所独自の取り組みもみられた。

（3）研修医へのアンケートでプログラムの満足度について、健康相談や結核診査協議会等結核関連事業、HIV検査など性感染症関連事業は実施率も高く、研修医としても「とても有益」または「有益」と答えている割合が高かった。健康教育は8割の研修医が経験していたが満足度は高く、テーマについての研究発表も8割が経験していたが「とても有益」「有益」が8割であった。

（4）研修医の評価については、保健所長がしている場合が多く、研修病院の評価表はEPOC評価システムを採用している病院が約半数であったが、研修病院の評価表に加えて、保健所で行っている評価表を研修病院に提出している保健所が約半数あった。

これらのことから、研修に関する組織設置率が低く今後検討すべき課題であるが、保健所長と保健師・事務職の担当者が相互協力の下で研修にあたっていることが示唆される。また保健所独自の研修内容にも取り組まれており、これらのことが、研修医からの高い満足度につながっていると考えられる。研修医の評価については、従前のEPOC評価システム

だけではなく独自の評価も行っており、詳細でかつ抜けの少ない評価になっているのではないかと考えられる。また、研修医の保健所における身分が「ある」と答えた保健所は非常に少なく、OJTとしての研修医への教育活動等をすすめる上で、今後の検討課題・問題点と考えられる。

引用文献

- 1)伊藤善信, 竹内徳男, 岸本益実, 川南勝彦等. 新医師臨床研修「地域保健・医療」の実践的な研修方策に関する研究. 平成18年度地域保健総合推進事業 新医師臨床研修「地域保健・医療」の実践的な研修方策に関する研究(主任研究者:伊藤善信) 平成18年度総括研究報告書. 2007.
- 2)伊藤善信, 竹内徳男, 岸本益実, 川南勝彦等. 新医師臨床研修「地域保健・医療」の実践的な研修方策に関する研究. 平成17年度地域保健総合推進事業 新医師臨床研修「地域保健・医療」の実践的な研修方策に関する研究(主任研究者:伊藤善信) 平成17年度総括研究報告書. 2006.
- 3)全国保健所長会 地域保健総合推進事業
<http://www.phcd.jp/katsudou/chihoken/18chihoken.html>

Ⅲ. 研究成果の刊行に関する一覧表

なし

Ⅳ. 研究成果の刊行物・別刷

なし